## 平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 <u>月 22 日</u>

評価対象事業			評価者	ļ	財政課長	持田 浩史
総務-10	実施事業	財政事務	自治事務	主管課	財政課	
		別以争伤  □	法定受託事務	関連課		
総合計画上の 位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営		

1 事業の目的

2 平成28年度に実施した事業の概要

対象	市民等	マダの行子 共伝第四尺が土体人比の第四次がフェック・セ
意図	予算編成、予算執行管理を円滑に実施し、財政の効率化を図るため。	予算の編成、執行管理及び市債全体の管理に係る事務を行った。 バランスシート等財務諸表の作成・公開、財政の健全化比率の算定・公 開により、市の財政状況を周知するとともに、健全な財政運営に努めた。
効 果	長期にわたって健全な財政基盤を確立する。	phressy herodoxylle phressy second References

3 事業費等基礎データ

データの	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備考
	人口	177,243人	176,869人	人口	176,466人	•各年3月31日
	世帯数	80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯	(住民基本台帳)
	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	14,950	21,451	当初予算(千円)	19,298	
運	国県支出金			国県支出金		
宮	地方債			地方債		
営資源状況	その他	3	4	その他	4	
	一般財源	14,947	21,447	一般財源	19,294	
	人員配置数	6.0	6.0	人員配置数	5.5	
	人 件 費(千円)	48,188	47,179	人 件 費(千円)	43,867	
老業 登選	総事業費(千円)	63,138	68,630	総事業費(千円)	63,165	
	市民1人当りの 経費(円)	356	388	市民1人当 りの経費	358	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人 当りの経費		

## 4 ST/F4+ FB

拠等)

評化	山桁果		ЖI:	効率	性」「妥当性」「	有効性」 <sup>·</sup>	公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。		
玄 性	事業費に削減余地はないか		1. ある	る					
<del>+</del> 11	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない							
	事業の実施に対する市民ニーズはある	3. 変わらずにある							
	事業の廃止・休止による市民生活への影	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない							
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある							
芴 性	事業の成果は得られているか	2. 成:	果は	概ね出ているカ	、更なる	努力は必要である			
<i>X</i> )] II	事業の上位施策に向けた貢献度は大	3. 事	業の	方向性や手法は	は概ね適り	切であり、一定程度貢献している			
平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	$\triangle$ -3.	受益	益者が特定でき	ないため、	、受益者負担を求めることができない		
			△-9.	. 実施	をが義務付けら	れており(	法定受託事務等)、協働はなじまない		
働	市民等と協働して事業を展開しているか				i済の場合のパ	_ <b>-</b> \+-			
			נאבן נענון						
	□ a:事業内容を見直す <b>⇒</b>	元 —	-	見					
	■ b:事業内容は現状通りとする	種直 知							
9性	□ c:事業を休止又は廃止する	<mark>の</mark> □ その	他	の					
	□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	<b>→</b>	事業へ統合						
質担	□ A:予算規模を拡大する	車業内容. 予							
の方	■ B:予算規模は現状維持とする <b>算規模の</b> 方		土に丁昇編成で執行官理を行りにめのン人デム連用寺に関する経吊的な事業後より、予管担償を適切である。						
可性	□ C:予算規模を縮小する	性設定の埋田	い / 1						
评(評									
に対	  引き続き、持続可能な財政運営を常に	実施し、これを	将来に	   将来にわたり、続けていくことができるように取り組んでいきたい。また、新たな事業					
	率 当 効 平 業の付 算の付 評(	事業の実施に対する市民ニーズはある 当性 事業の廃止・休止による市民生活への量 今後も市が実施すべき事業か 事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大 平 性 受益者負担は公正・公平か  働 市民等と協働して事業を展開しているか 一 a:事業内容を見直す ⇒	率 性 関連・類似事業との統合はできないか 事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか 今後も市が実施すべき事業か 事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか 平 性 受益者負担は公正・公平か △.負担未導入	<ul> <li>事業費に削減余地はないか</li> <li>調・類似事業との統合はできないか</li> <li>事業の実施に対する市民ニーズはあるか</li> <li>事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか</li> <li>事業の成果は得られているか</li> <li>事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか</li> <li>事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか</li> <li>事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか</li> <li>事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか</li> <li>本負担は公正・公平か</li> <li>△.負担未導入</li> <li>△-3.</li> <li>△-9.</li> <li>動・民等と協働して事業を展開しているか</li> <li>点値類しの</li> <li>は・事業と統合し、本事業は廃止する</li> <li>は・他事業と統合し、本事業は廃止する</li> <li>日は・治・予算規模を拡大する</li> <li>事業内容・予算規模の方向性</li> <li>こ・予算規模を縮小する</li> <li>「会社・予算規模を縮小する</li> <li>「会社・予算規模を縮小する</li> <li>「会社・予算規模を縮小する</li> </ul>	<ul> <li>事業費に削減余地はないか</li> <li>3. 統合で</li> <li>事業の実施に対する市民ニーズはあるか</li> <li>3. 変わらず</li> <li>事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか</li> <li>今後も市が実施すべき事業か</li> <li>9. 実施が</li> <li>今後も市が実施すべき事業か</li> <li>事業の成果は得られているか</li> <li>事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか</li> <li>3. 事業の</li> <li>立. 点担未導入</li> <li>立-3. 受益</li> <li>立-9. 実が</li> <li>協働実施</li> <li>市民等と協働して事業を展開しているか</li> <li>点. 協働未実施</li> <li>協働実施</li> <li>は. 協働実施</li> <li>は. お事業内容を見直す</li> <li>一 は. 主事業内容を見直す</li> <li>一 は. 主事業内容を見直す</li> <li>一 は. 主事業内容を見直す</li> <li>一 は. 主事業を休止又は廃止する</li> <li>一 は. 主事業と統合し、本事業は廃止する</li> <li>算規の方向性</li> <li>口 る: 予算規模を拡大する</li> <li>事業内容・予算規模の方向性設定の理由</li> <li>ご・予算規模を縮小する</li> <li>事業内容・予算規模の方向性設定の理由</li> <li>すと続き、持続可能な財政運営を常に実施し、これを将来にわかる考しませた。</li> </ul>	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか  事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか 今後も市が実施すべき事業か 事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか の表書を協働して事業を展開しているか 市民等と協働して事業を展開しているか の方では、事業内容を見直す のに、事業内容は現状通りとする は、他事業と統合し、本事業は廃止する は、他事業と統合し、本事業は廃止する のは、他事業と統合し、本事業は廃止する のは、他事業と統合し、本事業は廃止する のは、他事業と統合し、本事業は廃止する のは、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を拡大する の方では、一名・予算規模を指示する の方では、一名・予算規模を指示する の方では、一名・予算規模を指示する の方では、一名・予算規模を指示する の方では、一名・予算規模を指示する の方では、一名・予算規模を指示する の方では、一名・「会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会社・会	<ul> <li>事業費に削減余地はないか</li> <li>3. 統合できない</li> <li>事業の実施に対する市民ニーズはあるか</li> <li>3. 変わらずにある</li> <li>3. 変わらずにある</li> <li>9. 実施が義務付けられており(法定 今後も市が実施すべき事業か</li> <li>9. 実施が義務付けられており(法定 今後も市が実施すべき事業か</li> <li>9. 実施が義務付けられており(法定 李後も市が実施すべき事業か</li> <li>9. 実施が義務付けられており(法定 李後も市が実施すべき事業か</li> <li>9. 実施が義務付けられており(法定 事業の成果は得られているか</li> <li>4. 成果は概ね出ているが、更なる。</li> <li>3. 事業の方向性や手法は概ね適当 本の方向性や手法は概ね適当 本の方向性 日本の表と統合し、本事業は廃止する 日本の他 日本の他 日本の中で表しているが、基本の表と統合し、本事業は廃止する 日本の中で表しているが、ままれている。</li> <li>第月の方向性 日本の中で記述を確認がよるである。</li> <li>第月の方向性 日本の中で記述を確認がよると思いまする。</li> <li>第月の方向性 日本の中で記述を確認がよると思いまする。</li> <li>第十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</li></ul>		

平成28年度事業実施 にあたっての課題 (前年度未解決の事項 を含む)											
<b>課題解決のために行っ</b> 事務事業評価の結果と包括予算制度とを連動させるための取り組みを、本格的に実施するため、関係 ■ 一部解決 部局等へのヒアリングを実施した。   □ 解決   □ 解決   □ 解決   □ 未解決											
課題とその	未解決の課題、新たな 課題とその理由 平成28年度から本格的に実施した事務事業評価の結果と包括予算制度との連動について、市民評価を踏まえた上での 事業評価が的確に行われ、各部でのマネジメントを基に事業費の拡大と縮小のバランスをとりつつ予算編成に反映できる よう、関係部局との調整を行う必要がある。										
	〇 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)										
比較事項	経常収支									_	
団体名	鎌倉市	f j	<b>藤沢市</b>	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀	市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	94.0%		92.0%	97.6%	93.1%	89.2%	96.1%	Ó	98.1%	96.4%	101.3%
比較事項	実質公債	費比率									
団体名	鎌倉市	方 ji	<b>藤沢市</b>	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀	市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	-0.7%	5	1.8%	0.3%	2.6%	6.2%	6.5%		-0.3%	4.4%	19.0%
比較事項										!	<u>!</u>
団体名											
7 777 77											
他市実績											
他市比較に	当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方 経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示していることから、少しでも比率を低くするように努力していきたい。また、実質公債比率は、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であるが、本市では他市と比べ低い比率となっていることから、今後もこの状態を維持していきたい。										
◎ 事業実施 指標の内容	もに係る	指標						単		標の	備考
当該指標	を設定した	·理由	年次	H26	H27	H28	H29	位	H30	頁向 H31	Mis 13
			目標値	1120	1127	1120	1120		1100	1101	
			実績値								
			達成率								
指標の内容								単位		標の 質向	備考
当該指標	を設定した	理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31	
			目標値								
			実績値								
			達成率								
指標の内容は指標の内容はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は								備考			
当該指標	を設定した	理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31	
			目標値								
		実績値								_	
			達成率								
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方											